

「共生の森」で保全活動



11月2日(木)、ファミリー株式会社社員が鳥取県森林保全事業「とっとり共生の森」の活動に取り組みました。この事業は、企業が森林所有者に代わって保全活動をするもので、社員研修にも役立てられています。

同社は、平成21年12月に町内2か所の森林の約13haを保全する協定を県と町の3者で結んでいます。保全活動2回目となる今回は、門野にあるヒノキの人工林で行われました。参加者は約60人で、本社と名和工場の社員がほとんどでしたが、北海道や福岡県の

支社からも参加がありました。

枝打ち作業は初めてという人が多いため、大山森林組合から指導を受けながら、枝打ちと椎茸の菌を打ち込むグループにそれぞれわかれて作業しました。稲田二千武社長も枝打ち作業に参加し、社員と親交を深めていました。

参加者は「森林保全の必要性を身をもって感じました。普段と違う仕事をすることでリフレッシュもできるし、自分が植えた菌から椎茸を収穫することも楽しみです」と感想を話されました。



▲枝打ち作業について説明を受ける参加者



▲椎茸の収穫が楽しみです

「エビまつり」チームが(鳥取ロブスターツール)

1部初優勝!



第7回 大山町バドミントン大会

11月6日(日)、大山町バドミントン大会が大山総合体育館で行われました。当日は31チームが出場し、熱戦を繰り広げました。大会結果は、次のとおりです。

- 【1部】優勝 エビまつり 準優勝 赤松A
- 【2部】優勝 庄内 準優勝 国信A
- 【3部】優勝 松河原 準優勝 バドーズ
- 【4部】優勝 上方 準優勝 宮内
- 【5部】優勝 国信B 準優勝 ナスパルタウウンB
- 【6部】優勝 ねこパンチB 準優勝 ねこパンチA

中山 わいわいフェスティバル

ふれあいいっぱい



▲できたてのテメキュラドッグはいかが？

11月3日(木・祝)、中山農業者トレーニングセンターを会場に「わいわいフェスティバル」が行われました。歌や民族舞踊のステージイベントが来場者をひきつけたほか、地元特産品の販売やカレー、大山そばなど「わいわいフェスティバル」ならではの手作り料理の出店もあり、にぎわいました。今年も大山町国際交流協会は、物販テントを出し、キムチやテメキュラドッグを販売。毎年購入されている方も多く、商品が次々に売れていました。



▲ゴスペルオーブの歌声にうっとり